

ピカイチ先生の  
生活経営セミナー

2015年06月

未来を自分の頭で考える  
(③ 一線を越えない)

ネクストライフ・コンサルティング

〒975-0038

福島県南相馬市原町区日の出町167-3

info@next-life-consult.com

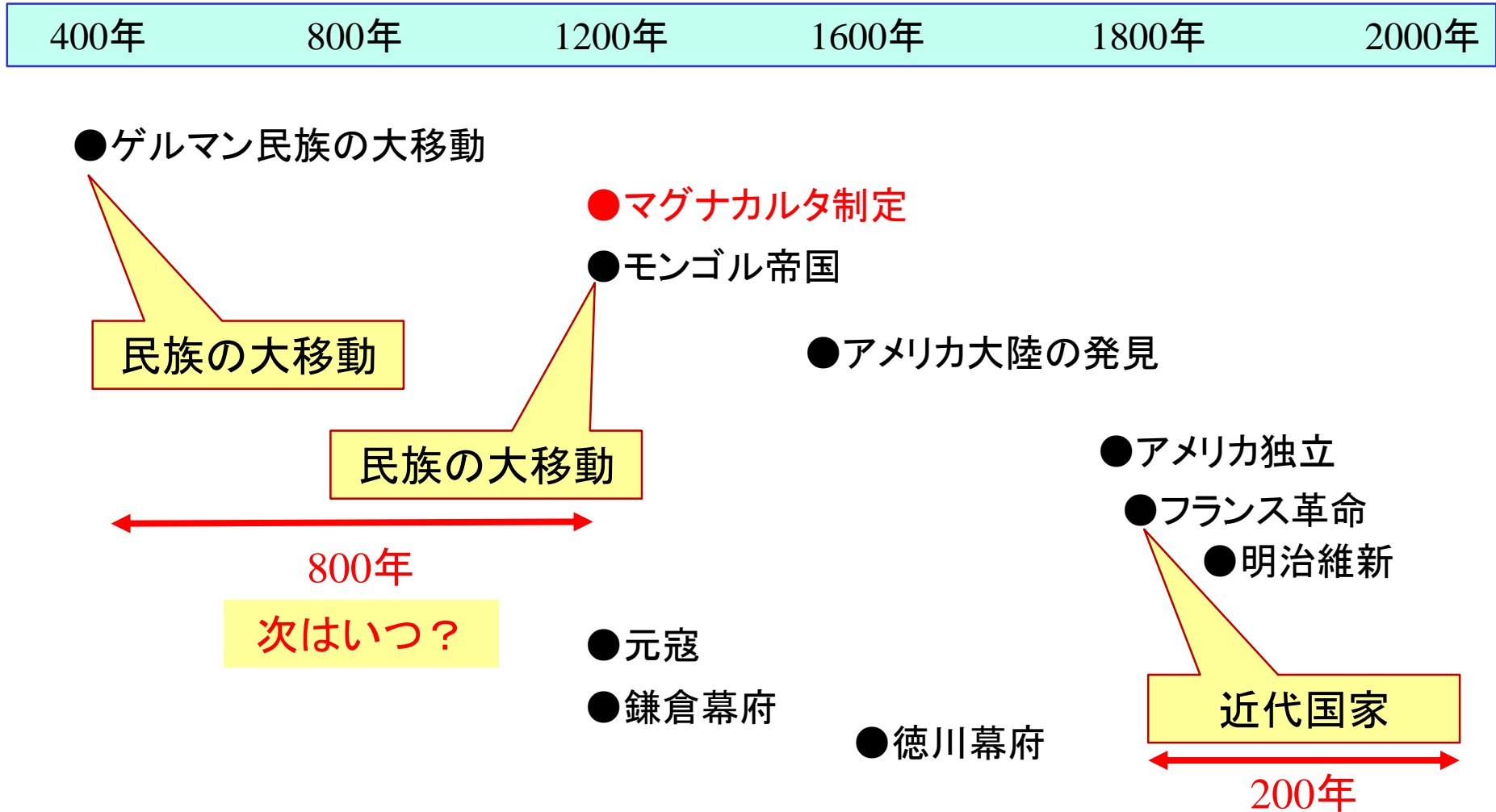


ピカイチ先生

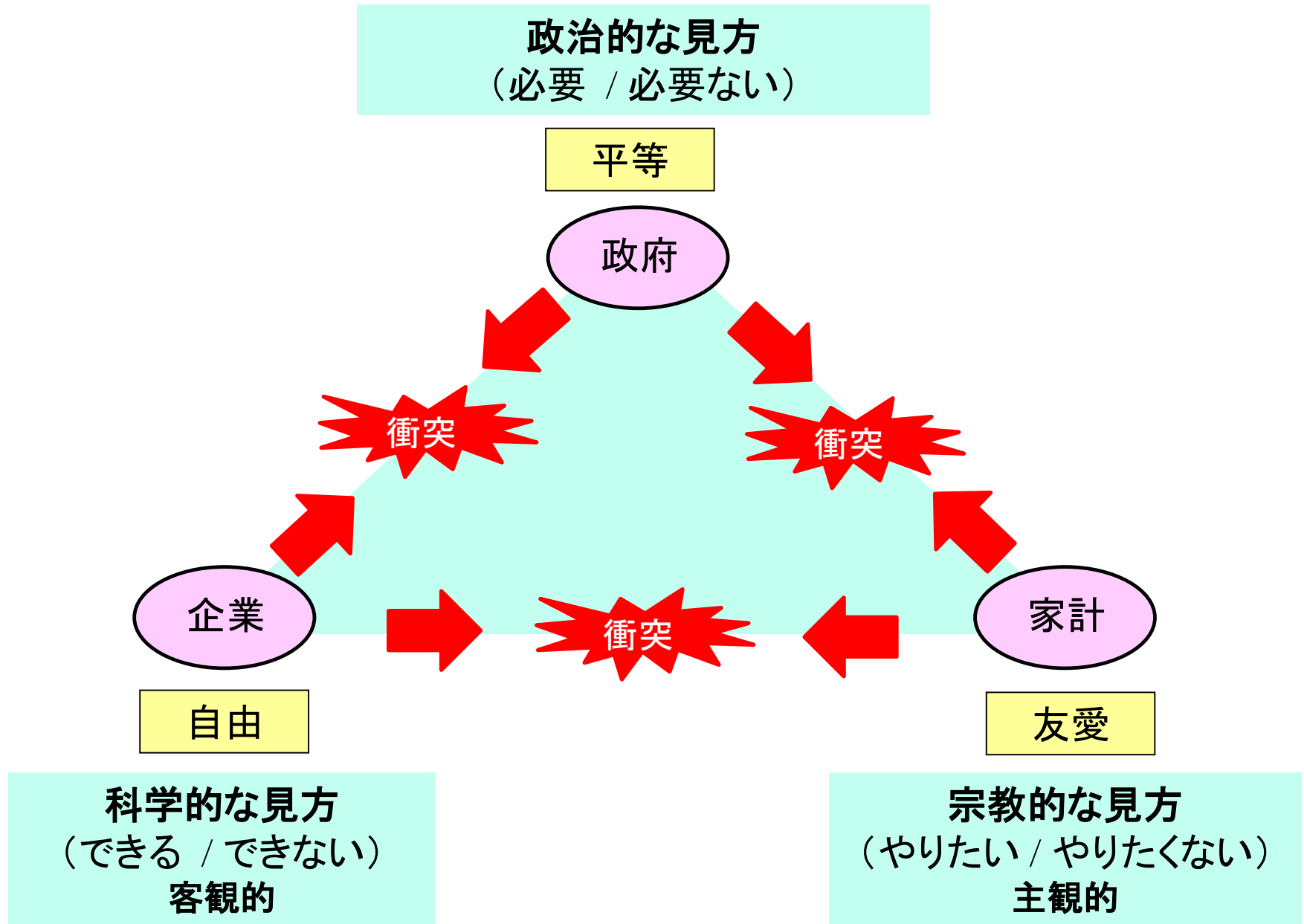
ピカイチ先生

検索

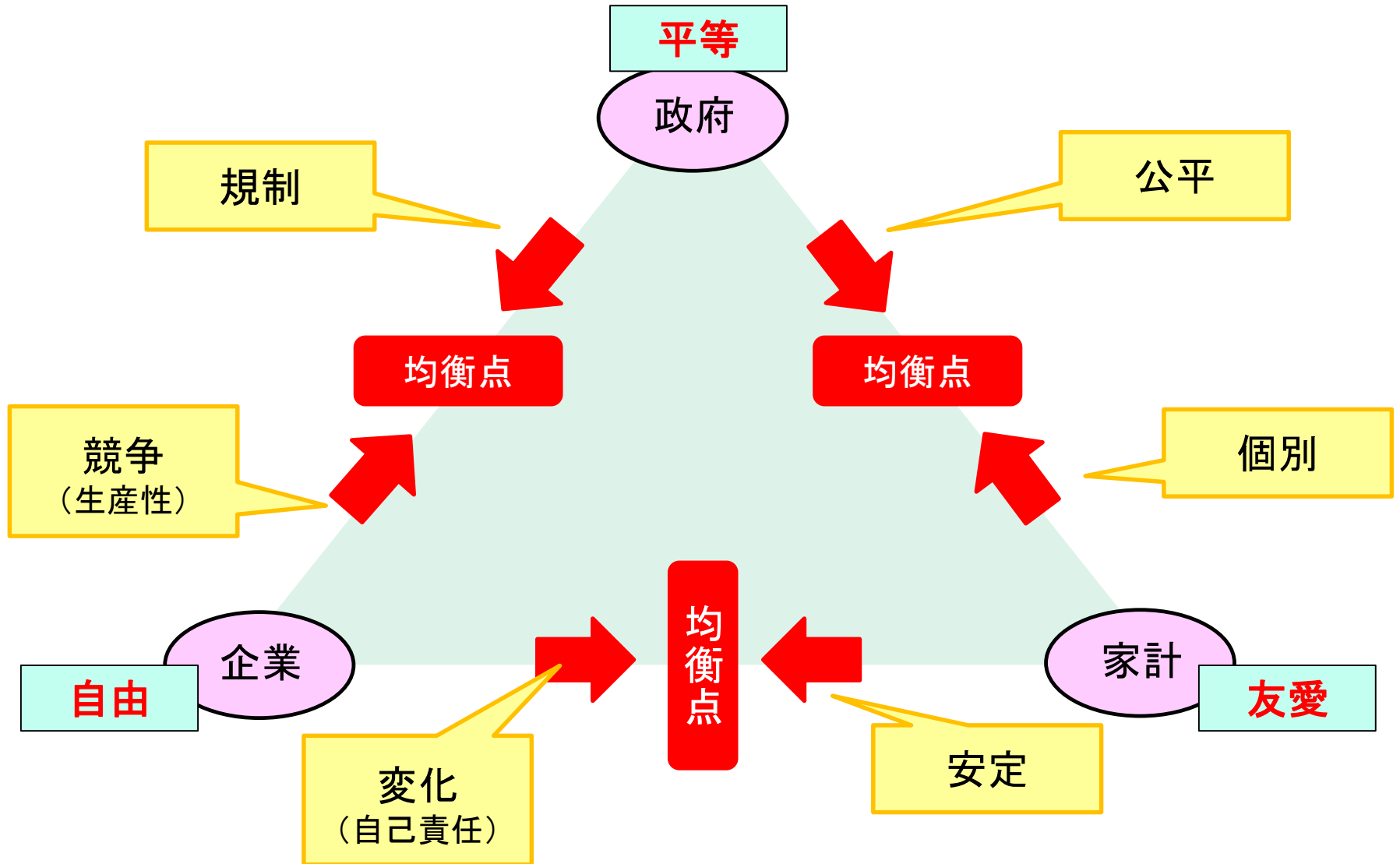
# 歴史は繰り返す？



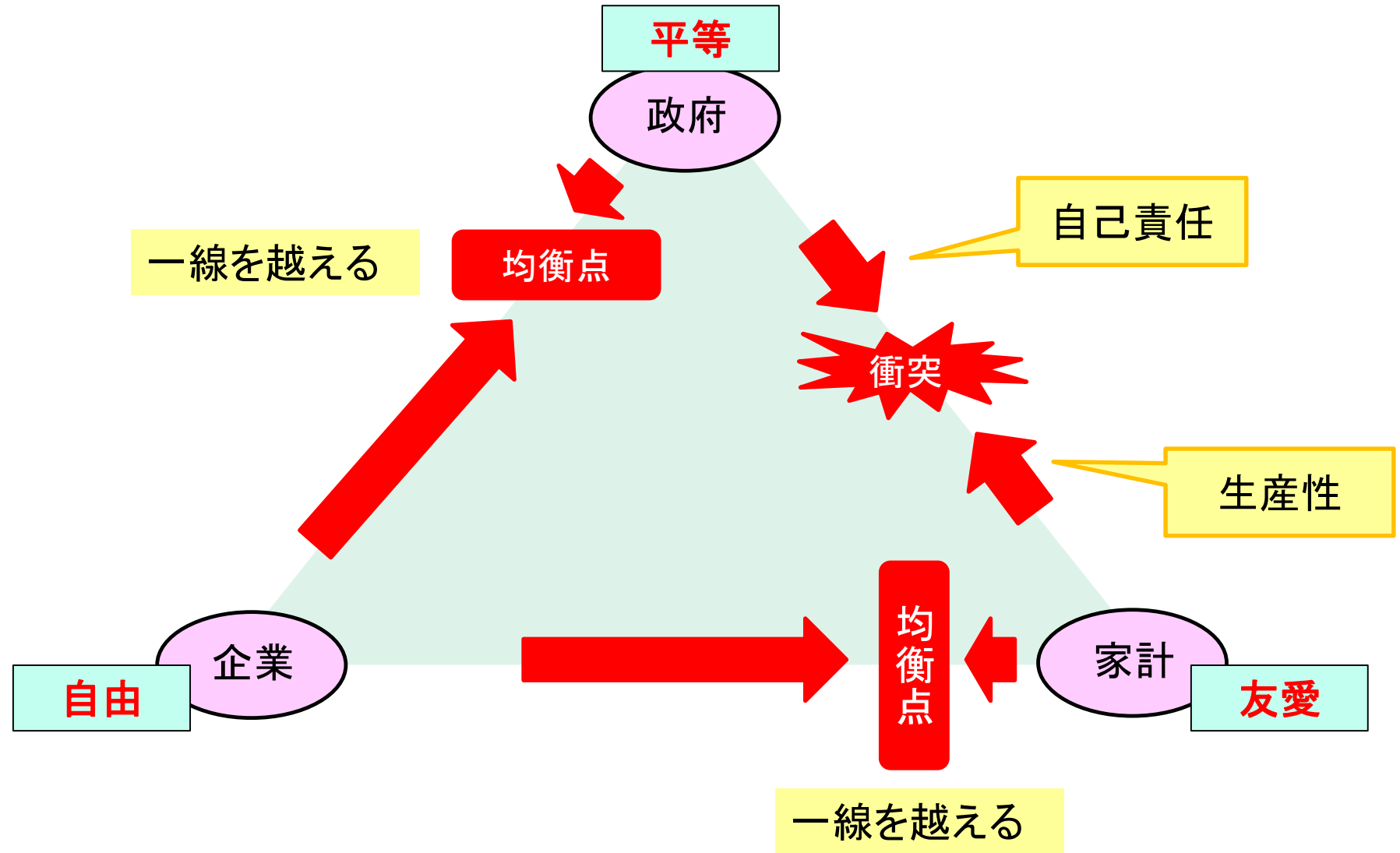
# 経済主体とフランス革命精神



# 3つの経済主体のバランス

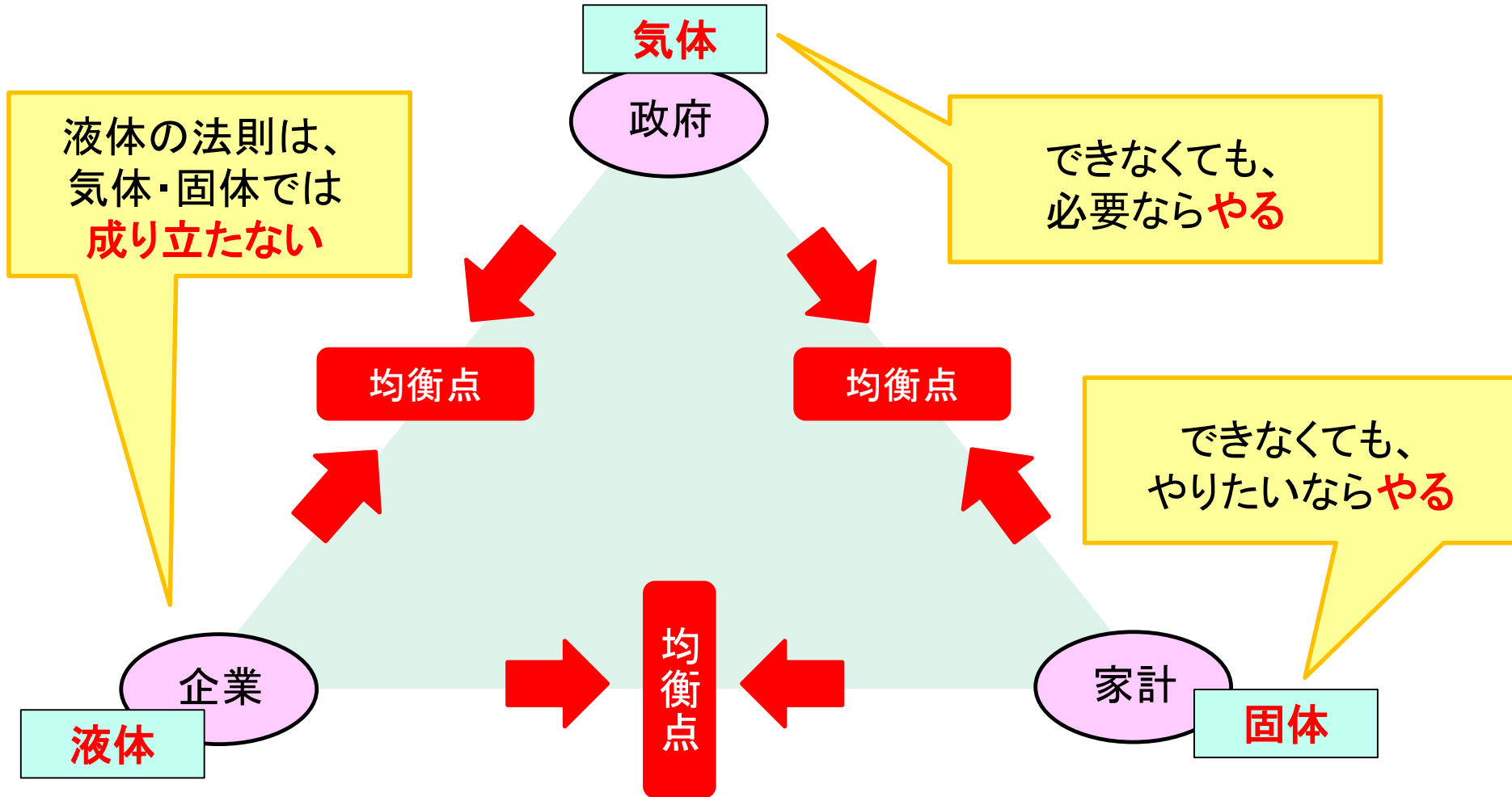


# 企業が一線を越えた？



# 経済主体のバランスをはかる

政治的（必要 / 必要ない）



液体の法則は、  
気体・固体では  
成り立たない

できなくても、  
必要ならやる

できなくても、  
やりたいならやる

科学的（できる / できない）

宗教的（やりたい / やりたくない）

# 「政府」の役割とは？

民間企業が無駄な仕事をしていたら経営が成り立ちません。しかしデフレのときに政府が仕事をつくらなかったら、いったい、ほかの誰が作るのかという話です。

日本で公共事業を批判する人は、よく「採算が合わない」とか「赤字事業はダメだ」とか妙なことを言います。そもそも事業単体で採算が合い、黒字になるような事業を政府がやってはダメでしょう。利益が出るならば、政府ではなく民間がやるべきです。単体では赤字になり、採算が取れないかもしれないが、国民経済の成長には貢献する事業であれば、政府は公費を使ってでもやるべきなのです。

そもそも「赤字の公共事業は」とか言っている人は、目の前の道路を使うべきじゃありませんよね。何しろ、一般道路は通行料を取っているわけではないので、単体で見れば間違いなく赤字です。「じゃあ、赤字だからあなたの家の前の道路は舗装しなくても構わないんですね」と言いたくなるわけです。

そのことをちゃんと政治家が説明しなくてははいけない。

『売国奴に告ぐ！』（三橋貴明・中野剛志著）より